



Oxford
Nanopore
Technologies

無料テクニカルウェビナー

2025年7月11日（金）

午後3時から

エピゲノム探索を極める！ オックスフォード・ナノポア シーケンスの実力

要旨

ナノポアシーケンシングは、ライブラリー調製に追加のコストや時間を必要とせずに、配列情報に加えて塩基修飾の情報も同時に出力できます。しかしながらこの膨大なデータを全活用することは時として簡単ではなく、バイオインフォマティクスの経験が求められる場合があります。このウェビナーでは、MinkNOWソフトウェアを使ったシーケンスランのセットアップ方法やDoradoを使用した生データのベースコール、コマンドラインツールModkitを用いた塩基修飾の解析に至るワークフローを解説します。具体的には、デモデータを使用してModkitを動かし、リードレベル修飾の検出、修飾塩基のカウント、修飾確率やメチル化の差分解析などをご紹介します。

また、各アプリケーションで使用されるコマンドと、これらのコマンドを適切に実行した際の期待される結果について説明します。最後に、EPI2MEデスクトップアプリのワークフロー（wf-human-variationおよびwf-somatic-variation）を用いて、解析パイプライン全体に統合されたModkitを活用した修飾解析の概要を説明します。

メチル化解析をされている方はもちろん、ナノポアでのメチル化解析がどんなものか少し見てみたいという方も、ぜひご参加ください。

最後に質問コーナーがあります。



大崎 研
アソシエイトダイレクター
テクニカルサービス
Oxford Nanopore Technologies

対象レベル：

- 解析初心者から中級者
- Oxford Nanopore のメチレーション解析に興味がある人



登録 >> <https://x.gd/S6kiA>